

第6章 1

副読本 46-49ページ

かな き も 悲しい気持ち, こわい気持ち

年 組 番 名前

1

「みんながいたからがんばれた」を読んで思ったことや考えたことを書きましよう。

みんながいたからがんばれた

水がのみたいな のどがかわいたな

でも水道から水はでない

ジュースもむぎ茶もない

ほくの水どうに水がちよっぴり

「ほくにもちょうだい。」

友だちが言っている

「いいよ ちょっとずつ分けようね。」

こくり

すぐまたのどがかわいたよ

おなかすいたな 何が食べたいな

でもごはんもパンもない

おせんべい 1まいをみんなで分けた

パリッ

おなかいっぱいにならないや

うちに帰りたいな

でも帰れない

外は水でいっぱい

学校の児童クラブの子どもたち

ひなんしてきた人が百人

ぎゅっ

手をつよくにぎってがまんしたよ

しんざいの夜

音楽室でみんなとすごした

遠くの空が赤くもえる

夜なのに

石巻の空はまっ赤だ

たて物からほのおが上がって

ほのおは黒い黒い水をてらす

今も思い出す あの夜

みんなで分けた水やおやつ

みんなでいたから

がんばれた あの夜

